

S.F.A.通信 第30号

(和歌山県漁業士連絡協議会報)

令和4年4月

発行：和歌山県漁業士連絡協議会

S.F.A. (=Senior Fishery Adviser、漁業士)

漁業士

将来の中核的漁業者として期待される漁業者や、優れた漁業経営を行い指導的役割を果たしている漁業者をそれぞれ「青年漁業士」、「指導漁業士」と県が認定し、現在112名(令和4年3月)の漁業士が地域産業の担い手として活躍しています。

和歌山県漁業士連絡協議会

漁業士相互の交流や資質向上、連絡調整を目的に平成元年に発足した和歌山県内の漁業士で構成される組織です。

年1回の総会のほか、他県漁業士との交流会、魚食普及活動、部会単位での会合などを通じて、お互いの情報交換や親睦を図っています。

～漁業士勇退式～

令和3年10月27日(水)に有田箕島漁業協同組合千田支所において、漁業士の定年を迎えられた宮崎正指導漁業士に塩谷会長より感謝状と記念品の授与が行われました。宮崎漁業士は平成3年度に認定され、有田地区部会を中心に30年以上にわたって本会の活動にご尽力され、本会の役員も歴任されました。漁業士連絡協議会活動への長年のご協力、誠にありがとうございました。



▲感謝状の授与(左側が宮崎漁業士)

～魚食普及活動～

漁業士連絡協議会では、魚食普及活動に力を入れて取り組んでいます。令和3年は部会活動も含め、計8回の魚食普及活動を実施しました。

令和3年度魚食普及活動一覧

実施年月日	対 象	内 容	備 考
令和3年10月17日	上富田町立市ノ瀬小学校 5年生	漁具装着体験 漁業の話①魚の食べ方について 漁業の話②まき網漁業について	まき網部会
令和3年11月4日	みなべ町立南部小学校 5年生	お魚タッチ、漁港施設見学 漁業の話①日高地方の漁業について 漁業の話②まき網漁業について	まき網部会
令和3年11月5日	御坊市立わかば保育園児	お魚タッチ、お魚教室（サワラの解体） お魚釣りゲーム、 チリメンモンスター探し	本会
令和3年11月12日	御坊市立塩屋小学校 5年生	お魚タッチ、漁港施設見学 漁業の話①日高地方の漁業について 漁業の話②まき網漁業について	まき網部会
令和3年11月24日	和歌山県立はまゆう支援学校 高等部	漁業の話①漁業について 漁業の話②まき網漁業について 漁業の話③一本釣り漁業について お魚タッチ、チリメンモンスター探し、 漁具装着体験	まき網部会 西牟婁地区部会
令和3年11月30日	広川町立南広小学校西広分校 全校児童	漁業の話 有田地方の漁業について お魚タッチ チリメンモンスター探し	有田地区部会
令和3年12月15日	和歌山県立はまゆう支援学校 小学部	漁業の話①まき網漁業について 漁業の話②一本釣り漁業について お魚タッチ 漁具装着体験	まき網部会 西牟婁地区部会
令和3年12月16日	和歌山県立はまゆう支援学校 中等部	漁業の話 まき網漁業について お魚タッチ チリメンモンスター探し 漁具装着体験	まき網部会 西牟婁地区部会



▲御坊市立わかば保育園の魚食普及活動



▲和歌山県立はまゆう支援学校の魚食普及活動

～漁業士認定～

令和3年度は、5名の方が漁業士に認定されました。

青年漁業士

奥村 明弘さん（湯浅湾漁協）

塩谷 明大さん（紀州日高漁協）

小嶋 卓さん（比井崎漁協）

指導漁業士

濱村 一成さん（比井崎漁協）

大戸 昌美さん（新庄漁協）



▲奥村さん



▲塩谷さん



▲小嶋さん



▲濱村さん

～知事感謝状～

指導漁業士として永年にわたりご活躍された2名の方々に、知事から感謝状が贈呈されました。

知事感謝状贈呈者

宮崎 正さん（有田箕島漁協）

西 洋之さん（紀州日高漁協）



▲西さん

◆◆◆部会情報◆◆◆

～～まき網部会～～

令和3年10月17日（日）に上富田町立市ノ瀬小学校の日曜参観で出前授業を行いました。保護者の方にも授業を参観してもらいながら、魚の食べ方やまき網漁業について講義を実施しました。保護者の方に実施したアンケート調査では、漁業について詳しい話を聞けたり、実際の漁具を見ることができてよかったと大変好評でした。



▲市ノ瀬小学校の魚食普及活動

また、令和3年11月4日（木）・11月12日（金）にはみなべ町立南部小学校と御坊市立塩屋小学校の校外学習に協力して紀州日高漁業協同組合で魚食普及活動を行いました。

漁港施設の見学では、まき網漁業で漁獲された生きた魚に触れてもらったり、漁船に乗船したり、漁港の施設を見学してもらう体験学習を行いました。最後は組合の会議室で日高地方の漁業や模型を用いたまき網漁業についての説明を行い、地元の子どもたちに自分たちの住む地域の漁業についての理解を深めてもらいました。



▲塩屋小学校の魚食普及活動

令和4年2月28日（月）に、書面にてまき網部会の総会を実施しました。総会では、令和3年度の部会活動報告、令和4年度の部会活動計画、役員任期の延長について決定しました。令和3年度の部会活動報告については、魚食普及活動についての報告、令和4年度の部会活動計画については、魚食普及活動や視察研修についての計画を決定しました。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により新たな役員選出が難しいことから、暫定措置として役員任期を令和5年3月31日まで延長することを決定しました。



▲南部小学校の魚食普及活動

～～西牟婁地区部会～～

令和3年9月29日（水）に和歌山南漁業協同組合白浜支所において、西牟婁地区部会の総会を開催しました。

総会では、令和2年度部会報告、令和3年度部会活動計画について話し合いました。令和2年度の部会報告については、魚食普及活動や研修会の結果についての報告、令和3年度部会活動計画として、魚食普及活動や視察研修会の開催を決定しました。



▲総会の様子

～～有田地区部会～～

令和3年11月30日（火）に広川町立南広小学校西広分校で出前授業を行いました。出前授業では有田地区の漁業について紹介した後、児童からの質問について回答したり、地元の底びき網漁業で漁獲された魚介類に実際に触れてもらったり、「チリメンモンスター」を使い、シラス漁で混獲される色々な魚介類を選び分けることで、魚についての興味を深めてもらいました。



▲お魚タッチの風景

お問い合わせ先 和歌山県漁業士連絡協議会事務局
和歌山県漁業協同組合連合会 総務指導課 横濱・岩崎
TEL 073-431-5101 FAX 073-422-1137
E-mail wk-shido@wkgyoren.jf-net.ne.jp

◆◆◆ われら漁業士 ◆◆◆

～仲間と取組む漁業を次世代へ～

和歌山南漁業協同組合

指導漁業士 真鍋 和功

平成29年度に指導漁業士に認定されました和歌山南漁業協同組合所属の真鍋和功（まなべ かずのり）です。以前は県外や地元白浜の民間企業で働いていましたが、平成20年に家業を引き継いで漁業を始めました。春はアオリイカの磯打ち網漁、夏はワタリガニ刺網漁やタコのかご漁、秋から冬はイセエビ刺網漁等、その他にも色々な漁業に従事しています。

また、最近減少している藻場の造成にも取り組んでおり、毎年ヒジキやヒロメ、クロメ移植のために母藻を磯に設置しています。今年はクロメを移植した漁場で芽が生えているのが確認でき、藻場再生に向けて一歩前進できたと実感しています。さらに、昨年度からは水産試験場の指導を受けて、ヒジキ種苗を着生させたレンガを磯に設置する方法を新たに取り入れるなど、今後も試行錯誤しながら藻場再生を目指して頑張っていきます。

漁業は自然相手の仕事なので良い時も悪い時もありますが、会社員とは違ってある程度自分がやりたいようにでき、やった分だけ返ってくるのが魅力です。日々一生涯懸命漁に出て、報われた時は本当に嬉しくて、やりがいを感じます。

最近全国的に漁獲量が減少し、漁業経営には厳しい時代になっています。白浜でもアオリイカのサイズが一昔前より小さくなり、数も減ってきましたが、資源保護に取り組みながら、この地域の伝統漁法である磯打ち網漁を守っていきたくと考えています。また、白浜の地の利を活かして、観光を組み合わせた新たな漁業にも挑戦し、若い人が働きやすい地域づくりにも取り組んでいきます。



和歌浦地区の漁業者の取り組み
—和歌浦干潟の潮干狩り場復活に取り組んだ10年間—

海草振興局 坂本普及員

和歌浦湾では、紀伊水道の恩恵を受けた好漁場が形成され、船びき網によるシラス漁が盛んに行われています。また湾奥には近畿最大の和歌浦干潟を有します。かつて、和歌浦干潟はアサリの潮干狩り場として多くの市民に親しまれ、平成14年のピーク時には約7万人が訪れる春の一大観光拠点となっていました。

しかし、食害などの影響でアサリ資源が激減し、平成21年から潮干狩りが中止となってしまいました。そこで潮干狩り場復活に向けて、和歌浦漁協青年部（現在、船びき網漁業者11人で組織）が中心となり、国や県の研究機関等の協力のもとアサリ資源増殖に向けた取り組みを開始しました。

取り組み内容としては、アサリ資源減少の原因の一つとして考えられたツメタガイ、クロダイ、エイ類による食害から守るための食害防止網の設置や、ツメタガイ及び卵塊の継続的な駆除活動、アサリ稚貝の天然採苗と育成を行いました。



▲食害防止網の設置



▲アサリ稚貝の採取

長年に渡りこれらの活動を実施してきた結果、生息密度は近年増加傾向にあります。まだ潮干狩り場復活には及びませんが、今後復活することを目標に活動を続けています。また地域において干潟保全への関心を深めるため、地元和歌浦小学校に対して、アサリ資源増殖活動についての環境学習を実施しました。その結果、和歌浦小学校は環境学習の実践が認められ、和歌山県知事による『わかやま環境賞』、環境大臣による『地域環境保全功労者表彰』を受賞しました。

またアサリ資源増殖活動に加え、食害防止網に付着していたカキに着目して新たにカキ養殖も開始しました。養殖方法は、干潟地形を活かしたバスケット式シングルシード養殖です。この方法は、バスケットが波浪で揺れることでカキ殻が削れるため付着物が付きにくく、きれいな涙型の深みのあるカキを生産することができます。また、地場産のカキを生産するため干潟での天然採苗にも取り組んでいます。こうして生産したカキは、和歌浦漁港内に整備した飲食販売施設『わか家』で味わうことができます。

そして、これらの新しい取り組みへの挑戦や地元小学校と連携した地域ぐるみの保全活動が評価され、令和4年3月2日に開催された『第27回全国青年・女性漁業者交流大会』にて県内初となる農林水産大臣賞を受賞しました。



▲カキ養殖施設



▲飲食販売施設『わか家』

和歌山県広報

～日常生活における人権チェックリスト～

普段、人権ということを意識することなく過ごしていると、私たちは知らず知らずのうちに誰かの人権を侵害してしまっていることがあります。また、人権を侵害している側は、その行為が相手にとって深刻な問題であると感じていない場合もあります。誰もが幸せに暮らすためには、人権という視点から普段の生活を見ていくこと（点検と気づき）、そしてそのような意識を持ち続けることが大切です。

次の各文を読んで、あなた自身の行動として「はい」か「いいえ」に○印をつけ、普段の生活をもう一度見つめ直してみましょう。

「該当しない」「そのような場面がない」などのときは、あなたがその場面に会ったときにどうするか考えてチェックしてみてください。

家庭で



(回答欄)

- 自分以外の家族あてに送付された郵便物や電子メール、携帯電話の履歴等を勝手に見ないようにしている。 はい・いいえ
- 子どもの意見（進学、就職、結婚についてなど）を無視したり、「あの子とは遊ばないようにしなさい」と子どもの交友関係を妨げたりせず、子どもの意見を尊重している。 はい・いいえ
- 子どもを叱るとき、大声で怒鳴ったり、身体を叩いたりしないようにしている。 はい・いいえ
- 「高齢者だから」という理由だけで、「もう年なんだからあまり外を出歩かないで」など、一方的に制限を加えたりせず、高齢者の意見を尊重している。 はい・いいえ
- 「男の子なんだからしっかりしなさい」「女の子なんだからお手伝いしなさい」など、男はこうあるべき、女はこうあるべきと決めつけた発言をしないようにしている。 はい・いいえ
- 夫婦・恋人間において、喧嘩で手をあげたり、友達付き合いや電話を厳しく監視するなどしないようにしている。 はい・いいえ
- 掃除、洗濯、食事のしたく・片付け、ゴミ出し等の家事や地域活動への参加など、性別・年齢に関係なく家族の一員として、協力している。 はい・いいえ



地域社会等で



(回答欄)

- 近所の人と会話するとき、他の家のプライバシーに関わること（勤め先や子どもの進学先など）は話題にしないようにしている。 はい・いいえ
- 駅でお年寄りが階段の上り下りや切符の購入に困っているとき、また外国人がどの電車に乗ったらいいかわからず困っているときなど、積極的に声かけを行い、必要に応じて手助けをする。 はい・いいえ
- 車いすを使っている人が建物の出入りなどで困っていたり、視覚障害のある人が横断歩道を渡れず困っていたら、「お手伝いしましょうか。」など声をかける。 はい・いいえ
- 聴覚障害のある人や高齢者が駅の構内や電車内のアナウンスが聞こえず困っていたら、身振りや筆談などにより手助けをする。 はい・いいえ
- スーパーなどで駐車場が満車であったり、急いでいるときでも、障害のある人が利用できるように障害者用駐車区画に停めないようにしている。また、点字ブロックの上には自転車やバイク等を停めないようにしている。 はい・いいえ
- インターネットのホームページや掲示板に、根拠のないうわさや悪口など、人を傷つけるようなことを書き込まないようにしている。 はい・いいえ
- 高齢運転者マーク、身体障害者マーク、聴覚障害者マークをつけている車に対して、信号のない交差点では先を譲る、駐車場で手間取っていてもイライラせず待つてあげるなど思いやりを持って運転している。 はい・いいえ



高齢運転者マーク



身体障害者マーク



聴覚障害者マーク

